できる楽しさいっぱい　優しさいっぱい　元気いっぱい　令和8年度11月号

早稲田小だより

1年60名　2年43名　3年49名
4年57名　5年68名　6年62名
計　339名

輝く秋　きみの挑戦

校長　中西　健二

10月5日陸上合同記録会。
地を蹴り　風を切る。
全力で挑む姿に　胸が熱くなる。
あの日　グラウンドで誰より輝いたのは　早稲田小の6年生だった。
最後の種目「三分間縄跳び」。 全員が代表選手。
はじまりの合図と同時に　言葉が走る。
「大丈夫、跳べるよ！」
襲いかかる疲労　切れる息。 仲間を　自分を大声で奮い立たせる。
声が　力に変わる。
誰もあきらめない。全員が力を送り合う。
その姿が　とにかく　かっこよかった。

静寂の校長室。
ここにも　一人の挑戦者がいた。
九九をもう一度　基礎から紡ぎ直す男の子。
教室では　割り算の学習が進んでいく。けれど彼は　焦らない。
一生懸命に自分の課題を見つめ続けた。
こころの教室の先生と努力を重ね続ける　その中で
少年は　きらめく答えに出会う。
「割り算は、掛け算の逆なんだ！」
自分で見つけた　算数の大法則。
彼は自ら発明した「割り算九九」をたずさえ　眩しい笑顔で　自分を超え続けている。

大声で励まし　高め合う6年生。
静かに　確かに　歩みを進める男の子。
自ら　そして仲間と　可能性の空を広げ続ける　早稲田の子どもたち。
この実りの秋　すべての挑戦に
私は心からの拍手を送る。